

## MCT TTT レッスン設計書

<b>名 称</b>	MCT TTT
<b>時間 × 日数</b>	7 時間 × 3 日間 10 : 00 ~ 18 : 00
<b>受講対象者</b>	MCT 取得希望者
<b>受講者の想定スキル</b>	MCAS 担当するアプリケーション合格済み ※ トレーナー経験は無い、または少ない方が多いと想定
<b>形 態</b>	6 名までの集合研修 最少催行人数は、3 名
<b>使用テキスト</b>	日経 BP 社 プロフェッショナル・トレーナーへの道 エイチ・アール・ディー研究所、MOT コミュニティ共著
<b>機 材</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者は 1 人 1 台の PC を使い、講師用 PC の画面をプロジェクターに投影する</li> <li>・ホワイトボードないしフリップボードを用意する</li> <li>・ビデオ収録のための機材を準備する</li> </ul>
<b>環 境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2007 Office system がインストールされていること</li> <li>・ビデオ収録したデータを再生する環境を整えておくこと</li> </ul>
<b>ス タ ッ フ</b>	メイン講師 1 名
<b>研修の目的</b>	MCT に必要なトレーナーとしてのスキルを身に付け、研修の現場で実装できる *該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準 (80%以上) に準拠
<b>研修の目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MCT に必要なスキルを実務に実装する必要性が理解できる</li> <li>・MCT に必要なスキルの基本を演習およびビデオ収録の中で実践できる</li> </ul> *該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準 (80%以上) に準拠
<b>最終評価</b>	3 日間を通して学習した内容を盛り込んだ詳細プランの作成と 20 分間のビデオ収録ができ、実務への実装の必要性を理解したことで達成とする
<b>1 日目の目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の目的と目標を理解し、MCT (トレーナー) としての役割を理解できる</li> <li>・プレゼンテーションスキルを理解し、演習で実装することができる</li> <li>・デモンストレーションスキルを理解し、ビデオ撮影 (5 分) の準備まで行うことができる</li> </ul>	
<b>オリエンテーション</b> 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師自己紹介、会場説明、全体および 1 日目のタイムスケジュールなど</li> <li>・研修の目的と目標の確認</li> </ul>
<b>講義と演習</b> 10:15-13:00  ※ 途中適宜休憩	<b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する</li> <li>・序章および第 1~2 章のポイントについて発問を交えながら説明し、演習への実装を意識付ける</li> </ul> 序章：テキストの使い方、用語など 第 1 章：トレーナーの役割 (受講者自己紹介を含む) 第 2 章：プレゼンテーション～正しく伝え、理解・納得を得る
昼食 13:00-14:00 (60分)	
<b>講義と演習</b> 14:00-18:00  ※ 途中適宜休憩	<b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する</li> <li>・第 2~3 章のポイントについて発問を交えながら説明し、2 日目の実演への準備を行う</li> </ul> 第 2 章：プレゼンテーション～正しく伝え、理解・納得を得る 第 3 章：＜実践演習＞SFB による説明と実演 (準備まで) *明日までの準備の説明を含む

<b>2日目の目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日目に学習したスキルを、ビデオ撮影（5分）で実装することができる</li> <li>・インストラクションおよびファシリテーション スキルを理解し、演習で実装することができる</li> <li>・コース設計から詳細プランまでの研修設計について理解し、詳細プランを作成できる</li> </ul>	
<b>オリエンテーション</b> 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の目的と目標の再確認</li> <li>・2日目のタイムスケジュール</li> </ul>
<b>講義と演習</b> 10:15-13:00  ※ 途中適宜休憩	<p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する</li> <li>・第4～5章のポイントについて発問を交えながら説明し、演習への実装を意識付ける</li> </ul> <p>第4章：インストラクション～興味を引き、“できる”をサポートする 第5章：ファシリテーション～励ましとグループシナジーの活用</p>
昼食 13:00-14:00 (60分)	
<b>講義と演習</b> 14:00-18:00  ※ 途中適宜休憩	<p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する</li> <li>・第6～7章のポイントについて発問を交えながら説明し、3日目のビデオ収録への準備を行う</li> </ul> <p>第6章：コースの設計 第7章：＜実践演習＞安心感の提供と”We can”サポート *明日までの準備の説明を含む</p>
<b>3日目の目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2日間の学習内容をもとに、20分間の模擬授業を行うことができる</li> <li>・模擬授業のレビューを自己・他受講者・講師で行い、良かった点と改善点を把握できる</li> <li>・実務への実装の必要性を理解できる</li> </ul>	
<b>オリエンテーション</b> 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の目的と目標の再確認</li> <li>・3日目のタイムスケジュール</li> </ul>
<b>講義と演習</b> 10:15-11:00	<p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する</li> <li>・第8章のポイントについて発問を交えながら説明し、実務への実装を意識付ける</li> </ul> <p>第8章：プロフェッショナル・トレーナーへの道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース準備から開催までの流れ（総括）</li> <li>・コンプライアンス（時間がなければ概要のみ）</li> </ul>
<b>ビデオ収録</b> 11:00-13:00  ※ 途中適宜休憩	<p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキル評価基準のポイントを意識してレビューする</li> <li>・実務への実装を意識付ける</li> </ul> <p>第7章：＜実践演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ収録とレビュー</li> </ul>
昼食 13:00-14:00 (60分)	
<b>ビデオ収録</b> 14:00-18:00  ※ 途中適宜休憩	<p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキル評価基準のポイントを意識してレビューする</li> <li>・実務への実装を意識付ける</li> </ul> <p>第7章：＜実践演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ収録とレビュー</li> </ul> <p>○研修全体のまとめ</p>

※ 受講者人数およびスキルによって、時間配分は変更となる場合があります